

第5課「おいしい！」

<調べ学習>

中国では何がいくらで買えるのか値段を調べてみよう。

全2時間の第1時間目 (26-28p)

	項目	指導例と留意点	指示の例
導 入 15 分	挨拶・点呼	授業開始の挨拶をし、出席をとる。	“同学们好!” “老师好!” “现在要点名。”
	到達目標の確認 第5課の単元目標	第5課のポイントを紹介する。 ★これから中国語のどんな表現を学ぶのか、生徒にしっかり意識させる。 ★テーマを板書する。「おいしい！」 様子を表す言葉「形容詞」 ★到達目標を板書し、到達目標とチェックシートを配布する。 ★この課のポイントが形容詞であることに注意を向ける。	さあ、今日から第5課を学習します。教科書25ページですね。第5課では様子を表す言葉を学習します。形容詞ですね。
	本時の目標	本時の学習ポイントを簡単に紹介する。 ★ポイントとなる様子や程度を表す既出語句を引き出してくるのもよい。発問しながら生徒に既習の形容詞を思い出させるのもよい。 例：“很酷” “还可以” 等。 ★本時では「おいしい」「好喝」という表現を学習する。第4課で学習した「おいしい」「好吃」と区別があることに気づかせたい。 ★「飲む」「喝」は第1課の[e]の発音練習にあったことに気づかせる。	みなさんは何を飲むのか好きですか？ コーラ？ コーヒー？ 紅茶？ 牛乳？ 熱いの？ 冷たいの？ 今日は、「(飲み物が) おいしい!」「熱い」「冷たい」「キレイだ」等の表現を勉強しましょう。様子を表す言葉です。形容詞ですね。 第4課ではいろいろな食べ物の中国語を勉強しましたね。どんなのを覚えていますか？ 「シュウマイ」「ワンタン」「ショーロンポー」…言えますか？ 「おいしい!」は何といいましたか？ 「飲む」は何といいいますか？ では、今日は飲み物の言い方も言えるようになりましょう。
	キーワードの学習 ● 巻末の語いリストを見て書きましょう。	● 巻末の語いリストを見て書きましょう。(26p) 教師用CD47を流す。 ゆっくり模範音読し、リピートさせる。コーラスリーディングする。 ★音読できているか留意する。 ★机間巡視し、必要に応じて支援する。 ピンインの空白箇所と()内に日本語の意味を記入させる。 板書してピンインと意味を確認する。	まずは、キーワードを聴きましょう。聞き取れましたか？では、一緒に読んでみましょう。 皆さん、ちゃんと発音できたようですね。 では、ピンインの抜け落ちているところを埋めましょう。()に日本語の意味を記入しましょう。巻末の語いリストを参考にしてください。

	<p>簡体字の学習</p> <p>● 気をつけて書きましょう。</p>	<p>★ピンインを読めているか、また、読めない箇所は適宜指導する。適時CDを流す。 ★生徒に板書させ、みんなでチェックするのもよい。 記入できたところで再度コーラスリーディングする。</p> <p>● 気をつけて書きましょう。(26p)</p> <p>正しい書き順で丁寧に書くようにするために、手本を板書する。正しく書けているか机間巡視し、必要に応じて支援する。</p> <p>★間違い易い漢字の書き方について注意を喚起する。 ★日中での漢字の違いに注意を向ける。 ★“钱”の金偏の書き方、旁が日本語より1画少ないことに気づかせる。 ★“喝”の旁の中央は「匕」ではなく「人」であることに気づかせる。</p>	<p>声調符号も大切です。付ける位置にも気をつけましょう。 では、正しく書けているかを板書で確認しましょう。記入に間違いがないかをチェックしましょう。間違っている箇所は訂正しましょう。 では、みんなでもう一度、発音してみましょう。</p> <p>教科書にある書き順に従って、丁寧に書きましょう。 “钱”の漢字をよく見ましょう。金偏が日本語と違って簡略されていますね。そして、旁が日本語と違っていますね。気づきましたか？横棒は2本ですね。気をつけましょう。 “喝”の漢字をよく見ましょう。日本語の「喝」とは違ってきますね。日本語では真ん中には「匕」を書きますが、中国語では「人」になっていますね。気をつけましょう。</p>
<p>展 開 1 10 分</p>	<p>ひとこと表現の学習</p> <p>● 1適切な語を選んで記入し、読んでみましょう。</p>	<p>● 1適切な語を選んで記入し、読んでみましょう。(27p)</p> <p>日本語の意味に合うように()に適切な語句を語群から選び記入させる。机間巡視しながら、必要な生徒には支援する。中国語の漢字とピンインに留意させる。記入できたところで、教師用CD48を流し、記入した内容が合っているか確認させる。確認できたところで、音読練習をする。</p> <p>★教師が()内の語を言い、生徒にそれに合う形容詞フレーズを発話させるのもよい。それぞれ肯定形、否定形を言えるように練習するのもよい。 ★教師が日本語を言い、生徒にそれに合う中国語を発話させるのもよい。 ★リズムよく音読できるよう留意する。 ★形容詞述語文では動詞は用いない。“是”が使われないことに気づかせる。 ★肯定形は形容詞の前に“很”を付けて練習する。 ★否定形は形容詞の前に“不”を付けて練習する。</p>	<p>イラストを参考にして、日本語の意味に合うように中国語を記入しましょう。中国語の漢字に気をつけて記入しましょう。ピンインは声調符号も大切です。声調符号をつける位置も決まっていますから、気をつけましょう。 記入漏れのないようにしましょう。 では、答え合わせをしましょう。CDを流しますから、よく聴いて下さい。合っていましたか？間違っていたところは直しましょう。 では、もう一度聴いてみましょう。 では、中国語で言ってみましょう。</p> <p>第2課では「～は～です。」の時、“是”を使いましたね。でも、ここにはありませんね。要らないんですよ。使わないんですよ。</p>

	<p>ひとこと表現の学習</p> <p>● 2 言ってみましょう。</p>	<p>● 2 言ってみましょう。(27p)</p> <p>イラストを手掛りにして内容を大まかにとらえさせる。 教師 CD 49 を何度か流す。 音読練習をしながら、意味を確認していく。できれば教科書を見ないで言ってみる練習もする。 ★第5課本文で用いられているものであり、覚えたい表現である。 ★教師が日本語を言い、生徒にそれに合う中国語を発話させるのもよい。</p>	<p>イラストを見てください。何と言っているのでしょうか？ さあ、イラストにあるような場面ではそれぞれ、こんなふうに中国語で言います。では、CDを聴いて下さい。 では、中国語で言ってみましょう。</p>
<p>展 開 2 15 分</p>	<p>会話文1の学習</p> <p>● 1おいしい!</p> <p>“要”“不要”の表現</p> <p>● 1言ってみましょう。</p>	<p>● 1おいしい!(28p)</p> <p>会話の場面を紹介する。教師用CD50を聴かせる。 ★大まかな内容を把握できているか留意する。 内容を確認する。 ★教師から発問をして生徒に答えさせてもよい。日本語でも中国語でも構わない。 CD または教師の後について発音練習と音読練習をする。 ★自分のほしいものを要求する時には“要”を用いる。 ★自分のいらないものを言う時は“不要”を用いる。 ★“的”フレーズ “冰镇的” 「冷たいもの」</p> <p>ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に音読練習させる。 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 ★リズムよく読めるように留意する。 ★できるだけ感情を込めて読めるように留意する。</p> <p>何組かに発表させる。 ★できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。 ★どんどん褒める。</p> <p>● 1言ってみましょう。(28p)</p> <p>教師用 CD51 を流す。それぞれ中国語で何と言うか注意して聴く。</p>	<p>今回は澤田さんと李さんの会話ですね。二人はそれぞれ何を飲みたいのかを話しているところです。 では、二人がどんな会話をしているのか聴いてみましょう。 どうですか？どんな話をしていたか、わかりましたか？ 「澤田くんは何を飲みましたか？」 「李さんは何を飲みましたか？」 「李さんが飲んだのは冷たいものですか？暖かいものですか？」 「澤田くんはコーラを飲んで、どうでしたか？」 「この日は寒かったですか？暑かったですか？」</p> <p>では、ペアワークしましょう。それぞれの役を交代で練習しましょう。 後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。</p> <p>では、発表してもらいましょう。誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていましたね。</p> <p>では、今度は自分のほしいもの、ほしくないものを言えるように練習してみましょう。</p>

		<p>まず、教師が（ ）に入れる語を指定して発話練習する。その後、随意の語を入れて発話練習させる。</p> <p>★この語群の単語は習得語彙ではなく認識語彙であり、覚えなければならないものではなく、練習に使えば良い。</p> <p>数名の生徒を指名して（ ）に任意の語を入れて発表させる。日本語からはじめても良い。</p> <p>★できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。</p> <p>★発話者には自分の発言内容を理解してもらえよう努力することを促す。</p> <p>★聴いている生徒には、発話者の発言内容を理解しようとする努力することを促す。</p>	<p>イラストを見て下さい。それぞれ中国語では何と言うのか、CDを聴いてみましょう。</p> <p>何がほしいですか？何はいらないですか？中国語で言う練習をしてみましょう。</p> <p>では、だれか、発表してみてください。</p> <p>“〇〇同学,你不要什么? 你要什么?”</p> <p>〇〇同学,あなたは何はいらないですか？何がほしいですか？</p> <p>みなさん、聴いてわかりましたか？〇〇さんは何がほしいと言っていましたか？</p>
ま と め 5 分	ま と め 挨拶	<p>まとめ</p> <p>会話文1をCDに合わせて音読する。</p> <p>★発音、声調、スピード、語調などを意識させる。</p> <p>次回の授業内容の予告をする。</p> <p>授業終了の挨拶をする。</p>	<p>まとめ</p> <p>では、今日習ったところをもう一度みんなで読みましょう。</p> <p>次の時間は買い物時の表現を勉強します。</p> <p>「いくらですか？」や値段の言い方を勉強します。</p> <p>“同学们,下次再见!” “老师,再见!”</p>

<板書例>

第5課

- 1 テーマ 「おいしい！」(形容詞述語文)
- 2 単元の目標 「キレイだ」「高い」などモノの様子を表す表現と「おいしい」「ほしい」など感情を表す表現をできるようになる。
モノの値段を尋ねることができるようになる。
- 3 本時の目標 「冷たい」「熱い」等様子を表す表現、「おいしい」「ほしい」等感情を表す表現ができるようになる。
- 4 キーワード (1～8の各ピンイン・簡体字・意味を書く)
- 5 簡体字 “钱” “喝” (それぞれ筆順と留意箇所を示す。)

<宿題>

キーワードと漢字の書き方練習を予習（宿題）としてもよい。
その場合、ウォーミングアップの段階で作業ができているか確認を行う。

全2時間の第2時間目(29-31p)

	項目	指導例と留意点	指示の例
導入 10分	挨拶・点呼 ウォーミングアップ&復習 本時の到達目標の確認	授業開始の挨拶をし、出席をとる。 復習 会話文1 前時で学習した表現を言えるか確認する。 適時教師用 CD50 を流す。 本時のポイントを簡単に紹介する。 ★中国の通貨について写真などを利用して紹介するのもよい。できれば、実物を提示する。教科書 31 ページ写真参照。 ★日本の通貨単位と中国の通貨単位やレート等を紹介するのもよい。 例：“日元” “元” “块” “角” “毛” “分”	“同学们好!” “老师好!” “现在要点名。” 復習 では、前の時間の復習をしましょう。中国語で言ってみましょう。 “今天很热。” “今日は暑いですね。” “真好喝!” “本当に美味しいですね!” “我不要----。” “私は～はいらない。” “我要----。” “私は～がほしい。” 今回は買い物のときに使える表現を学習します。みなさん、買い物の時、どんな会話をするでしょうか。 「いくらですか?」「〇〇円です。」「高いですね!!」などを言ったりしますね。今日はそれを中国語で言えるようになりましょう。
展開 30分 展	会話文2の学習 ● すっごくキレイ!	● すっごくキレイ! (29p) 会話の場面を紹介する。 教師用 CD52 を流す。 ★大まかな内容を把握できたかを確認する。 内容を確認する。 ★教師から発問をして生徒に答えさせてもよい。日本語でも中国語でもよい。 発音練習と音読練習をする。適時 CD を利用する。 ★値段を尋ねる表現はぜひ覚えられるよう留意する。 ★この場面は日本であるので、通貨の単位は日本円になっている。 ★場面設定を中国にしての中国の通貨単位を用いて練習してみるのもよい。 ペアで音読練習させる。それぞれの役を交互に音読練習させる。 机間巡視し、必要な生徒には支援する。 ★リズムよく読めるように留意する。 何組かに発表させる。 ★できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。 ★生徒の発音、声調を確認し、一連の練習の成果をみる。	今回は寺本さんと李さんの会話ですね。値段はいくらでしょうか?高いでしょうか?安いでしょうか? では、二人がどんな会話をしているのか聞いてみましょう。 どうですか?どんな話をしていたか、わかりましたか? 「二人は何を見えていますか。」「いくらですか。」 「その指輪はキレイですか。」「その指輪は高いですか。」 では、ペアワークしましょう。それぞれの役を交代で練習しましょう。後で発表してもらいますから、しっかり練習してください。 では、発表してもらいましょう。 誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか? みなさん、よくできていましたね。

	<p>まとめの学習</p> <p>● 練習問題1</p> <p>● 練習問題2)</p>	<p>発表させるのもよい。</p> <p>数組に発表させる。</p> <p>★できるだけ自主的に発表することを促す。指名してもよい。</p> <p>★発話者には自分の発言内容を理解してもらえよう努力することを促す。</p> <p>★聴いている生徒には、発話者の発言内容を理解しようとする努力することを促す。</p> <p>● 練習問題1 (30p)</p> <p>教師用 CD55 を流す。直接記入させる。 模範解答は板書し、簡体字等の書き間違いがないか注意を促す。</p> <p>● 練習問題2 (30p)</p> <p>教師用 CD56 を流す。直接記入させる。 模範解答は板書し、簡体字等の書き間違いがないか注意を促す。</p>	<p>では、発表してもらいましょう。 誰からでも結構です。誰か発表してくれませんか？</p> <p>みなさん、よくできていました。</p> <p>それでは練習問題をやってみましょう。教科書30ページを開いて下さい。 CDを聴いて()に記入しましょう。 では、答え合わせしましょう。</p> <p>では、練習問題2をやってみましょう。CDを聴いて()に記入しましょう。 では、答え合わせしましょう。</p>
<p>まとめ</p> <p>5分</p> <p>挨拶</p>	<p>まとめ</p> <p>チェックシート記入</p>	<p>まとめ</p> <p>「すっごくキレイ！」(会話文2)をCDと合わせて音読させる。(教師用 CD52)</p> <p>★発音、声調、スピード、語調などを意識させる。</p> <p>★読めているか。本時の内容を把握できたかに留意する。</p> <p>チェックシートに各自の到達度について記入し、提出させる。</p> <p>次回の授業の予告をする。第6課のポイントは“有”“没有”。</p> <p>授業終了の挨拶をする。</p>	<p>まとめ</p> <p>では、今日習ったところをもう一度みんなで読みましょう。 CDの中国人の人が話しているように、できるだけ自然なスピードとテンポで言えるようにしましょう。</p> <p>第5課では「キレイ」「冷たい」「熱い」「高い」など様子を表す表現や買い物にかかわる表現を学びました。では、第5課のチェックシートを記入して提出してください。</p> <p>次の時間は「ある」「ない」「持っている」などの表現を勉強します。</p> <p>“今天的课就到这儿。同学们,下次再见。”“老师,再见。”</p>

<板書例>

<p>第5課</p> <p>1 本時の目標 値段を尋ねられるようになる。値段を答えられるようになる。</p> <p>2 会話文2のポイント 例: “多少钱?” “…日元。” “太贵了!” 「言ってみましょう。」 例: “这个…真漂亮!”</p> <p>3 練習問題模範解答</p>
--

<宿題例>

第5課の練習問題を復習として、宿題としてもよい。

第6課のキーワードと簡体字の書き方練習を宿題としてもよい。
その場合はウォーミングアップの段階で作業ができているか確認を行う。